

## 令和4年第11回(11月)清瀬市教育委員会定例会会議録

令和4年第11回清瀬市教育委員会定例会が令和4年11月7日(月)午後1時30分に招集された。出席委員、議事の概要は次のとおり。

- 1 日 時 令和4年11月7日(月)午後1時30分
- 2 場 所 庁議室
- 3 付議案件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 坂田 篤 (教育長)  
宮川 保之 (教育長職務代理者)  
粕谷 衛 (委員)  
兵頭 扶美枝 (委員)  
欠席:尾崎 啓子 (委員)
- 5 事務局 南澤 志公 (教育部長)  
紅林 兼一 (教育部参事)  
宮本 央子 (教育総務課長)  
馬場 一平 (教育指導課副参事)  
山田 能久 (児童青少年担当課長)
- 6 書記 下ノ村 友紀 (教育総務課主任)

令和4年第 11 回(11 月)清瀬市教育委員会定例会

令和4年11月7日(月)

オンライン会議(事務局:市民協働ルーム)

定例会

- |      |                            |  |
|------|----------------------------|--|
| 日程第1 | 会議録署名委員の指名(粕谷委員)           |  |
| 日程第2 | 教育長報告                      |  |
| 日程第3 | 教育委員報告                     |  |
| 日程第4 | 議案第 24 号                   | 清瀬市就学援助費支給要綱の一部改正について (教育総務課)          |
| 日程第5 | 報告事項1                      | 令和5年度清瀬市立学校教育課程編成基準(案) (教育指導課)<br>について |
| 日程第6 | 報告事項2                      | 特別支援学級の新設移設計画(進捗)について (教育指導課)          |
| 日程第7 | 報告事項3                      | 新型コロナウイルス感染症の状況について (教育総務課)            |
| その他  | 令和4年度ジュニアリーダーズクラブの活動予定について |  |

議事の日程並びに議事の概要並びに議決事項

開会

坂田教育長が開会を宣言

日程第1 会議録署名委員の指名

○粕谷委員を指名

日程第2 教育長報告

○教育大綱について。パワーポイントにて説明

日程第3 教育委員報告

- 粕谷
- 六小の教育委員会訪問を通じて感じた、コミュニティスクールに対する校長と教員との温度差について。
  - コミュニティスクールによる教員の負担について。負担軽減のための人的資源の投入などへの必要性について。六小をパイロット校とするうえでも対応が必須であることへの意見表明。
- 兵頭
- 六小への教育委員会訪問に関する意見表明。教師の学び合う姿は見られたが、全体的な「学び合い」に結びついていないという課題の指摘。
  - コミュニティスクールに関する「周知」の必要性。子供たちが地域の一員としての自覚が生まれたことへの期待を表明。
  - 地域福祉推進協議会を通じた、コロナや高齢化による参画者の減少などへの懸念と、社会総がかりでまちづくりや学校に関わることのできる自治体となることへの期待の表明。
- 坂田
- 学校支援本部と地域の支援団体との協働の必要性について。
- 宮川
- 新しい公を作る起点となるのがコミュニティスクールであるとの期待表明。特にいじめ、不登校の問題を増やさないためにも、学習集団、学級作りについて再構築しなければならないことを主張。
  - 芝山小学校への教育委員会訪問を通じた「学級目標」の取り扱いの現状と課題について。学年が上がっていくごとに学級の集団の凝集性が高まるようにしなければいけないという主張を表明。
  - ビブリオフォーラムに対する評価。子供たちのみならず、教職員の参加増が課題。

日程第4 議案第24号 清瀬市就学援助費支給要綱の一部改正について

- 教育総務課長
- 資料に沿って説明
- 改正点1: 要綱から訓令に改正

改正点 2: スキー教室の実施年時変更に伴う支給対象学年の改正

改正点 3: 宿泊行事が実施できなかった学年の子供に対する「みんなで作る思い出プロジェクト」実施に伴い、限定的な援助が行えるよう改正。

(可決)

日程第5 報告事項1 令和5年度清瀬市立学校教育課程編成基準(案)について

教育指導課副参事 ○図書館を使った調べる学習コンクールとオリンピックパラリンピック教育を新たに付け加えるなど変更点の説明。

粕谷 ○調べる学習コンクールにおける、対象学年を限定することへの懸念表明。同コンクールの趣旨に合致しないため、学年については学校で判断して実施など。

宮川 ○教科横断的なカリキュラムマネジメントを基本方針の中で明確化していく必要性について主張。

坂田 ボッチャの取り扱いについて質問。

日程第6 報告事項2 特別支援学級の新設移設計画(進捗)について

教育指導課副参事 ○次年度、知的障害特別支援学級が新設(二中、三中)されることに伴う説明会の報告及び清瀬第六小学校に新設される言語障害通級指導学級の説明会実施を説明。

兵頭 ○六小に新設される言語障害通常学級指導学級が市内全域の子供を対象とすることへの周知について。難聴児を対象とする教室にしなかった意図への質問。

日程第7 報告事項3 新型コロナウイルス感染症の状況について

教育総務課長 ○市内小中学校陽性者の報告。オンライン授業実施校も併せて報告。第8波に備えて校長が医師会と相談してオンランなどに切り替えることができる体制へと動いていることを説明。

その他 令和4年度ジュニアリーダーズクラブ(JLC)の活動予定について

児童青少年担当課長 ○JLCの今後の活動予定の報告。

閉会

坂田教育長が閉会を宣言。

閉会 午後3時  
令和4年11月7日

上記のとおり会議の顛末、大要を記し相違ないことを証する。

清瀬市教育委員会

教 育 長 坂 田 篤  
教 育 委 員